

こめのつがわ 米之津川の浸水被害を解消します！

～河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）～

＜今回の災害の特徴＞

★観測史上最大雨量を記録、約60年ぶりの大浸水

平成18年7月豪雨により総雨量1,237mm（紫尾山アメダス観測局：7月18日～23日）を記録し、鹿児島県出水市においては米之津川の氾濫により1,305戸に及ぶ甚大な浸水被害が発生しました。

この浸水により、商店街や老人ホームなど出水市の中心市街地が浸水したほか、肥薩おれんじ鉄道も3日間運休となり、社会経済に大きな影響を与えました。

＜米之津川激特事業の特徴＞

★概ね5年間の激特事業により、浸水被害を解消

今年から概ね5ヶ年で激特事業を実施することにより、今回の豪雨に対して米之津川の浸水被害を解消します。

＜激特事業の概要＞

★米之津川の洪水流下能力を大幅に増大

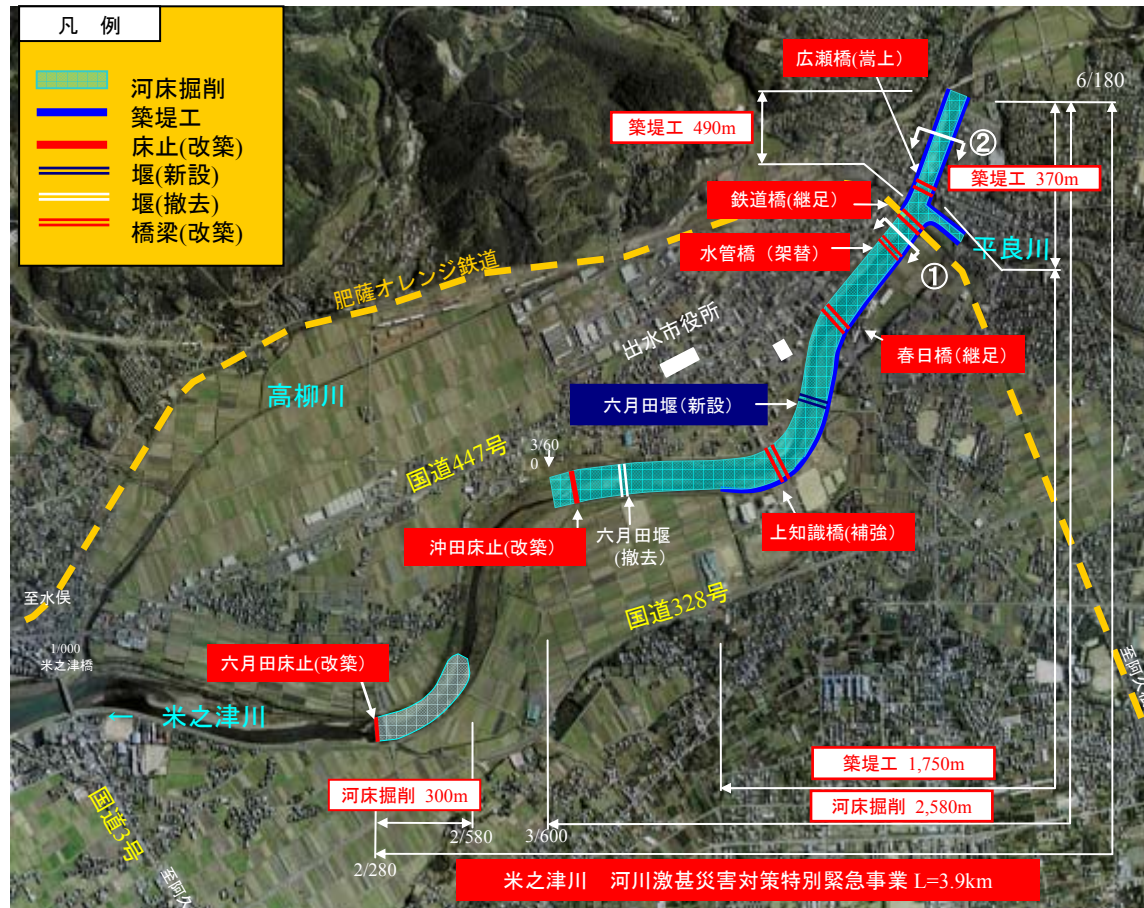
激特事業では、米之津川の河道掘削、築堤、護岸等の整備を行い、洪水流下能力を大幅に増大することにより、今回の洪水を安全に流下させます。

（参考）

■激特事業の概要

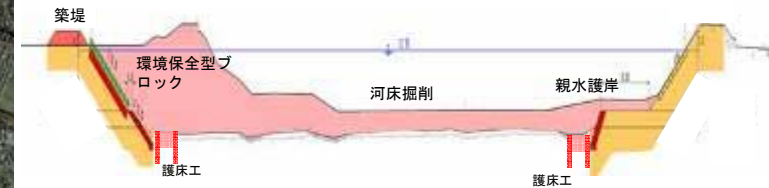
- | | |
|--------|--------------------|
| ・事業主体 | 鹿児島県 |
| ・事業区間 | 米之津川 約3.9 km |
| ・事業内容 | 河道掘削、築堤、護岸、橋梁改築等 |
| ・事業期間 | 平成18年度～平成22年度の5ヶ年間 |
| ・採択事業費 | 91億円 |

米之津川 河川激特事業実施箇所と整備内容

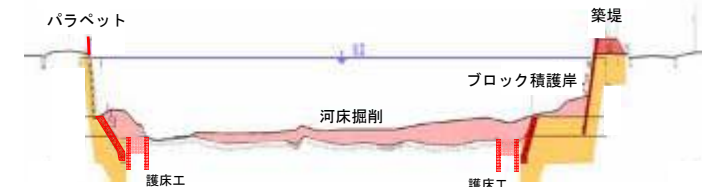


【主要横断図】

① 広瀬橋下流区間



② 広瀬橋上流区間



ソフト対策等

■減災に向けた水防情報提供の強化・充実

- ・水位情報周知河川への指定
- ・浸水想定区域図及び洪水ハザードマップの作成，配布
- ・メールマガジンに防災情報の提供

■「まちづくり」における減災対策や水害救援体制の見直し等

- ・災害時における民間ビルの避難所利用
- ・水害救助用ボートの配備，災害備蓄品の整備見直し

■整備延長 約3.9km

■整備内容

- ・河道掘削工
- ・築堤工
- ・護岸工
- ・橋梁改築 等

■整備期間

- ・平成18年度～平成22年度(5年間)

(参考)降雨、水位の状況

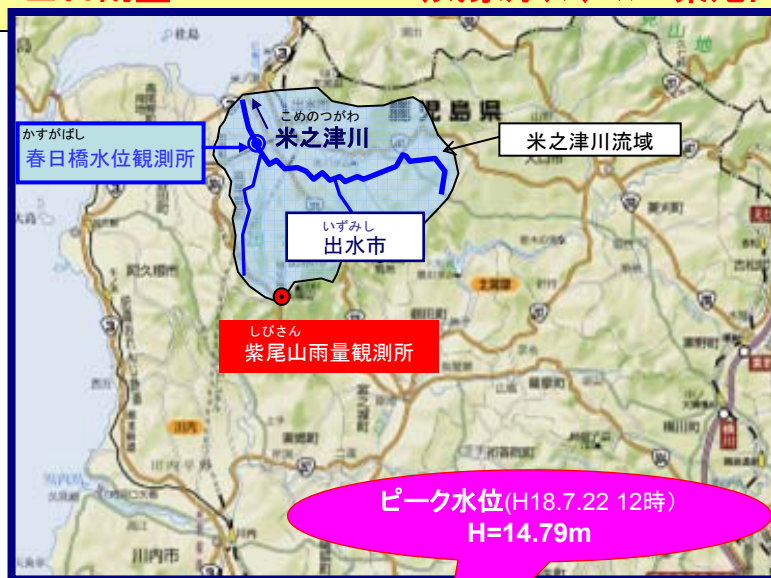
日最大635mm, 連続雨量1,237mmの猛烈な雨を記録

米之津川流域では、7月18日から23日昼過ぎにかけて前線性豪雨により日最大635mm, 連続1,237mmの激しい雨が降り、出水市街地において**浸水家屋1,305戸**（**床上793戸**，**床下512戸**）の甚大な浸水被害が発生。



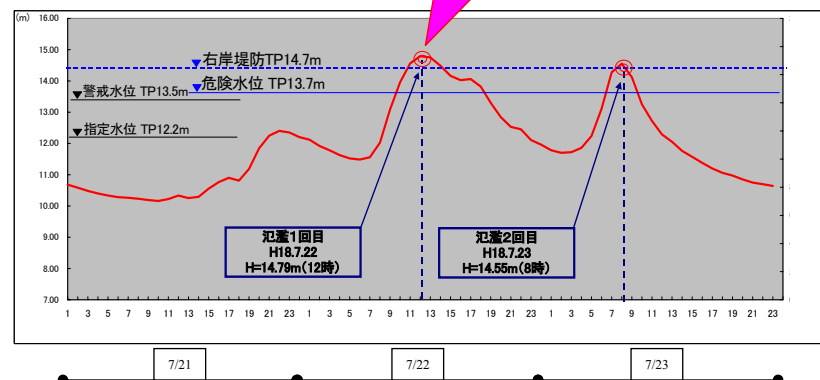
■連続雨量：1,237mm（気象庁アメダス：紫尾山）

■日雨量：635mm（気象庁アメダス：紫尾山）

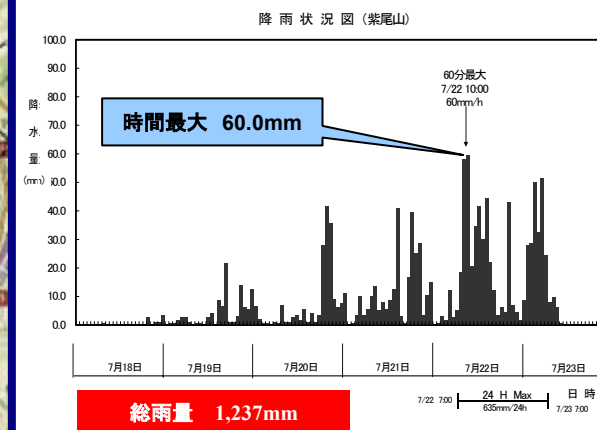


ピーク水位(H18.7.22 12時)
H=14.79m

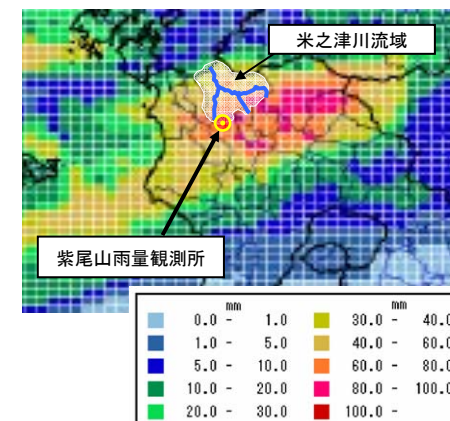
洪水水位(春日橋水位観測所)



しびさん
紫尾山雨量観測所(気象庁アメダス)



【7月22日10:00 気象庁アメダスデータ】



(参考) 浸水被害の状況

米之津川 広瀬橋や春日橋付近から溢水・越水による浸水被害が発生

浸水区域 (H18. 7. 22, 23)
浸水面積 287ha
宅地 141ha
農地 146ha
床上戸数 1,305戸
床上 793戸
床下 512戸

